SDGs探究プログラム名

猪革ワークショップ体験～猪皮から猪革へ、資源の活用を考える。～

伊達市　伊達市農林業振興公社

SDGs17の目標該当No. 6 8 12

【プログラムの内容】

伊達市はおいしい農作物がたくさんとれるところです。
そんなおいしい農作物を荒らす困った存在になっていたイノシシ。イノシシが増え被害が広がった農地は耕作放棄地となり、さらにイノシシの生息域が広がり生息数が増える、荒らされた農地は荒廃が進み台風や大雨の影響で土砂災害が起こることも。
被害を減らすために捕獲数が増えたイノシシは、震災による放射能の影響もあり有害獣として処分されるだけでした。
有害獣とはいえ命ある生き物、全て廃棄処分するのではなく地域の資源に出来ないかと始まったのが伊達のイノシシ革です。野生のイノシシを使用しているので同じ革はありません。色も手触りも模様も全部自分だけのもの。しわもシミも生きた証です。そんな革を使って世界でひとつの革製品をつくります。

【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット」】

▶ゴール1（ターゲット12）イノシシの革ワークショップを通じて、持続可能な資源活用を学ぶ。
▶ゴール2（ターゲット15）イノシシの被害と活用を学び、森林資源と命の大切さを学ぶ。

皮から革にするには

野生の革を活かした製品づくり

オリジナルの革製品を作る

資源について考える

事前学習

▶どうしてイノシシの革なのか、地域の問題と現状を学ぶ。
▶人の生活圏と自然の接点、特に里山の機能について調べる。

【施設で対応できること】
▶ウェブサイトでの情報提供
▶パンフレット等プログラムに関する資料を送付

現地学習

▶猪革ワークショップを始めた経緯の説明
▶猪の革を利用した製品の作成

→イノシシを地域の資源としてどのように活用したか、事例を学ぶ。
→ワークショップを通じて、活用方法や命の大切さを学ぶ。

事後学習

▶イノシシ革の資源としての活用方法を考える。
▶学校内でオリジナル商品の発表会などを行う。

受入人数	10人 ～ 60人程度 （人数により入れ替え制）
受入可能時期（休業日）	通年
受入可能時間	９時 ～ １６時
体験時間	１時間程度

対象	小学生、中学生、高校生
1人/1回 当たり料金	2,500円～3,500円
備考 (雨天対応等)	宿泊施設等への出張ワークショップも可能 ※交通費が別途かかります

▶問い合わせ
企業/施設名称：　（一社）伊達市農林業振興公社
担当名：齋藤　知世
TEL：024-573-2150
営業時間：9時 ～ 16時
休館日：土日･祝日･年末年始